

## AAC2020 美術旅行レポート



AAC2020 最優秀賞

「Microcosm」

勝川 夏樹

東京藝術大学大学院

# 美術旅行レポート

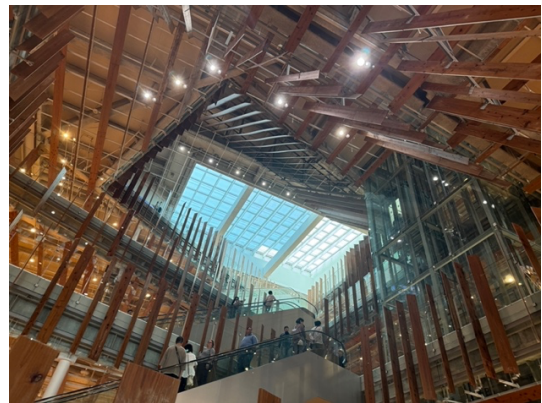
2020 年受賞 勝川夏樹

2024 年 10 月 15 日

2024 年 10 月 14 日に富山市ガラス美術館において開催されている「富山ガラス大賞展 2024」を鑑賞しました。本レポートでは、その訪問内容について報告いたします。

## ○美術館の概要

富山市ガラス美術館は、2015 年 8 月に開館したガラス工芸の美術館で、日本国内外の現代ガラス作品を展示する文化施設です。富山市の中心部に位置し、建物は建築家隈研吾によって設計され、ガラスと木材を組み合わせた独特の空間が訪れる人々を魅了します。



館内には、アメリカの人間国宝（National Living Treasure Award）でスタジオガラス運動の第一人者であるデイル・チフーリの壮大なガラス作品やコレクション展として国内外の有名なガラスアーティストによる常設展示が行われています。特別展では、現代ガラス芸術の多様な表現や技法を紹介し、ガラスという素材の可能性を探る試みが続け



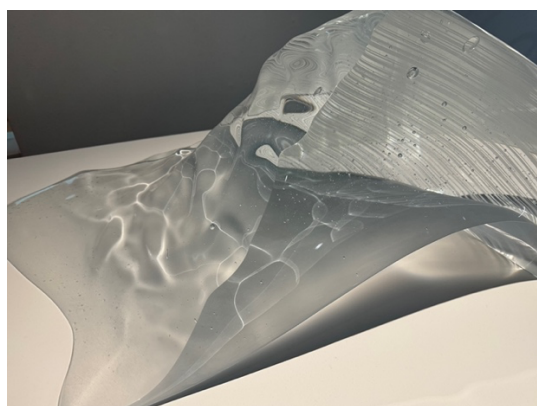
られています。美術館内には図書館も併設されており、地域住民がガラス工芸に限らずさまざまな文化や学問に親しむことができる複合施設となっています。ワークショップや講演会などのイベントも開催され、ガラス制作の実技を学ぶ機会も提供されているため、地域の文化活動にも貢献している施設です。

## ○展覧会概要

「富山ガラス大賞展」は、富山市がガラス工芸の振興と文化の発展を目指して開催する国際的な公募展です。2018年に始まり、3年に一度行われるこの展覧会は、ガラスを主な素材とした芸術作品を対象に、優れた作品を顕彰し、ガラスアートの可能性を広く発信することを目的としています。「富山ガラス大賞展 2024」は第3回目の公募展で、50の国と地域から785件の応募があり、50点の作品が選出されました。多くのアーティストが参加し、世界的なガラス工芸の潮流を示す場となっています。



大賞受賞作品「rêverie」



左：銀賞受賞「光の満ち引き The ebb and flow of the light」

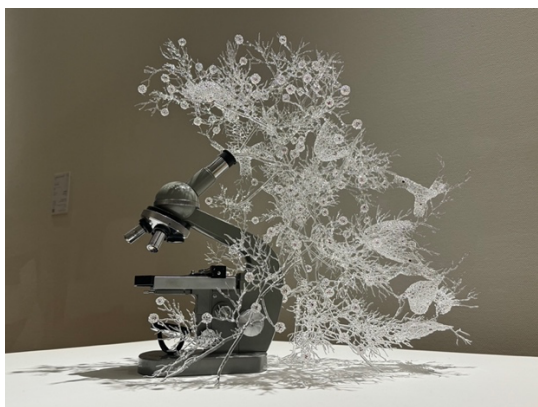


右：銀賞受賞「Riot of flies」

○個人的に注目した作品の感想

審査委員賞受賞作品「unknown unknowns」の酸素バーナーを使って、繊細な菌類のような生き物が表現された様子は、まるでマイクロの世界の美しさを具現化しているように感じました。顕微鏡を覗いたときの感動や知的好奇心が、そのまま広がっていく様子が印象的です。同じく顕微鏡内の世界をテーマに作品を制作している私にとって、とても親近感を覚えました。

金賞受賞「Riot of flies」は、作品の中で紙を折り曲げた質感や表情が見事に再現されており非常に魅力的でした。しかし、垂直に壁に展示されたその姿は、もし本物の紙であれば撓んでしまうだろうという違和感を感じました。その矛盾が、ガラスという素材ならではの特性と絶妙に結びついており、作品全体に興味を引かれる要因だと思いました。



審査委員賞受賞作品「unknown unknowns」



金賞受賞「Riot of flies」



## ○富山市ガラス美術館との関わり

私も何度か富山市ガラス美術館にお世話になっています。初回の公募展である「富山ガラス大賞展 2018」や 2020 年の企画展である「マイクロコスモス-あらたな交流のこころみ」では作品を展示させていただきました。また、2023 年にはワークショップも開催させていただき、幅広い年齢層の方に制作技術や表現を共有する機会をいただきました。



中日新聞 2023 年 9 月 4 日掲載  
ガラス作品作り 発想楽しく 富山の美術館で体験会  
(<https://www.chunichi.co.jp/article/761983>) 参照 2024-10-15

## ○ガラスの街とやま

「ガラスの街とやま」は、富山市がガラス工芸を都市文化の核として位置付け、その発展を目指すプロジェクトです。富山は、伝統的に薬品用ガラス瓶の製造といった産業背景を持ち、これを基盤にガラス工芸の拠点としての役割を強化しています。このプロジェクトの一環で、多くのガラス関連施設が設立され、国内外から注目を集めています。

富山市ガラス美術館以外にも富山ガラス造形研究所という教育機関があります。研究所は、ガラス技術の継承と発展を目指す場として、国際的なガラス作家を招聘するなど、次世代のガラス作家の育成にも力を入れています。併設された富山ガラス工房では、体験工房での一般の方向けのプログラムや、工房を持たないガラス作家が利用できるのレンタル工房、受注生産を担当する創作工房などガラス作家が制作活動を行う場として機能しています。

また、市内各所にガラス作品が設置され、街全体がガラスアートで彩られています。駅周辺や公共スペースには、地元作家や国際的なガラスアーティストの作品が展示され、観光客や市民が日常的にガラス工芸に触れる機会を提供しています。

もし今後、富山市内へ行く機会がある方がいらっしゃいましたら、ガラスに目を向けて少しでもガラス造形に関心を持って頂けると幸いです。